

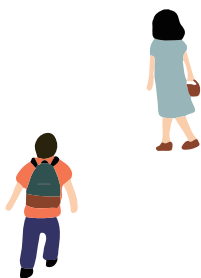


# 私の帰る場所

私の帰る場所がある。そこで待っていてくれる人がいる。

「おかえり」の声に、帰ってきたと思える。

私にとっては、実家みたいな感じです。

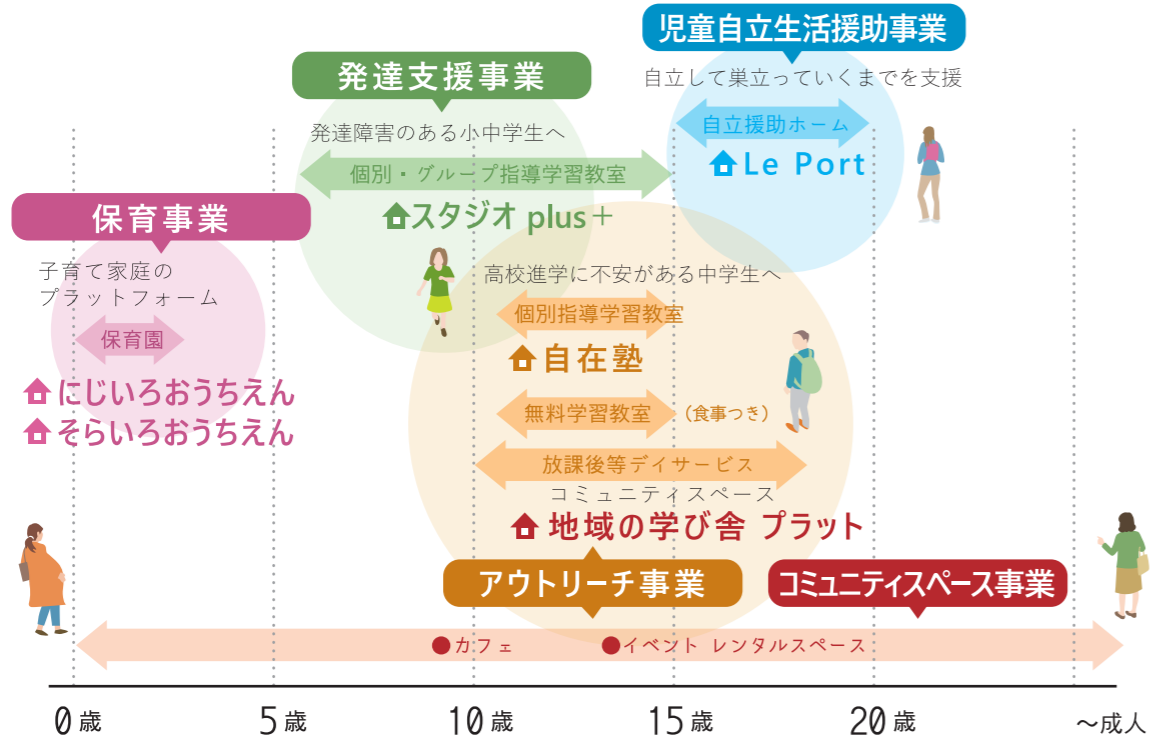


# 目の前の人の、暮らしを豊かに

なにかあったとき、ふと「相談しよう」と思える。

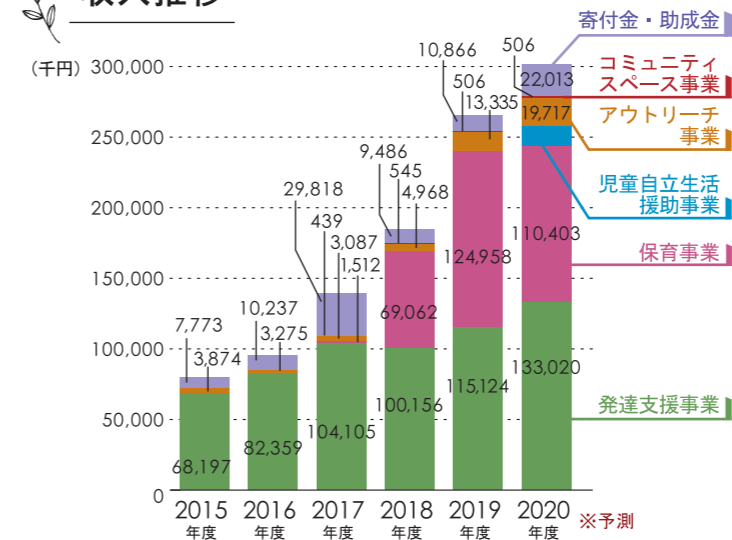
そんな場所を学習教室・カフェ・コミュニティスペース、保育園など

目の前の人の「ちょっと困った」に合わせてつくっています。

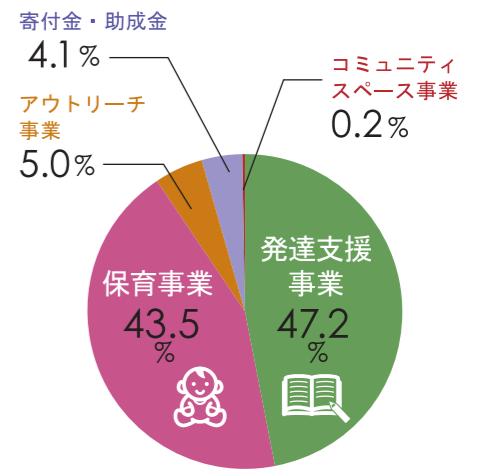


## 2019 年度会計報告及び 2020 年度計画

### 収入推移



### 2019 年度収入比率



2019 年度は小規模保育所である「そらいろおうちえん」がオープンしたため保育事業部の収入が大幅に増加しました。発達支援事業部では、サービス待機者の解消に向けて放課後等デイサービス事業所「スタジオ plus+」を1カ所新設し、収入は前年度比約113%となりました。また「地域の学び舎「プラット」」で運営する放課後等デイサービスの入会者が増え、収入を伸ばしました。2年前まで発達支援事業部の収入が大きかった状態から比率が減ることで収入のバランスが取れるように改善されました。2020 年度は助成金を使い、新たに相談事業を始めたいです。今後も社会の変化、課題にスピーディに対応できるようファンドレイズを強化していきます。

### 助成金実績

- 市川市市民活動団体事業補助金 >> 300,000 円
- オリックス宮内財団 子ども食堂応援プロジェクト令和元年度助成 >> 300,000 円
- 公益推進協会 JM 基金 >> 294,000 円
- 生活クラブ虹の街 こども食堂基金 >> 40,000 円

## 数字でみる事業成果

### 保育事業部

心配や不安が軽減した

94.7%

2019年11月に実施したアンケートでは、在籍している園児の保護者26名のうち約95%が「おうちえんに通うことで心配なことや不安なことが軽減された」と回答しています。



### 発達支援事業部

自分に対して満足している

73%

2020年3月に実施したアンケートでは、スタジオ plus+に在籍する190名の生徒のうち70%以上が自分に対して「満足」もしくは「どちらかといえば満足」と回答しています。全国の若者を対象とした内閣府統計では40.8%です。(出典:令和2年版 子供・若者白書)



### アウトリーチ事業部

学習でわかることが増えた

100%

2019年10月に実施したアンケートでは、無料学習教室に通う22名の生徒全員が、「学習でわかることがこの半年間で増えましたか?」という質問に対して「とても増えた」「まあ増えた」と回答しています。



### 利用者の声 ~無料学習教室に通う中学生より~

金曜日にプラットがあるから 普段頑張れる

複雑な家庭環境に育ち、プラットに来た当初から口癖のように「家に帰りたくない」と言っていたOさん。最初はアルファベットもあまり書けませんでした。ボランティアの先生から熱心に教えてもらい、上手な発音で楽しそうに英語に取り組む姿が見られるようになりました。また、次第に友達を連れてきてくれたりと、彼女をきっかけに繋がりが増えています。「金曜日にプラットがあるから普段頑張れる」家でも学校でもないところに安心できる居場所をみつけ、今ではそう私たちに伝えてくれます。

## 2019年度活動ハイライト

### 小規模保育所「そらいろおうちえん」がオープン

2019年4月、市川市認可の小規模保育所「そらいろおうちえん」がオープンしました。医療的ケアが必要な子どもや発達段階の異なる子どもたちが一緒に生活できる「インクルーシブ保育」を実践しています。様々なライフスタイルの家庭を受け入れる「にじいろおうちえん」に続き、市川市の待機児童解消に繋がっています。



### 「スタジオplus+」5教室目となる船橋教室がオープン

2019年8月、千葉県内でもサービス待機者の多かった船橋市内に5教室目となる「スタジオplus+ 船橋教室」がオープンしました！3年ぶりの新教室のオープンで2019年度には44名の新たな子どもたちに学習機会をつくることができました。2020年度には隣接エリアに未就学児を対象とした児童発達支援事業所を開所予定です。就学までの切れ目のない支援を目指していきます。



### 自立援助ホーム「Le Port (ル・ポール)」立ち上げ

自立援助ホーム立ち上げのためのクラウドファンディング(資金調達)を2020年3月～4月に実施しました。自立援助ホームは様々な理由から帰る家がない15歳～20歳の子どもたちが共同生活を送りながら自立を目指す場所です。総勢200名を超える方々に合計約200万円のご支援をいただきました。支援金は主に入居している子どもたちが退去する時に必要となる生活援助金として使用する予定です。



## 組織のさらなる成長を目指して



代表 不破牧子

2020年3月末、生まれ育った千葉県市川市から沖縄県うるま市へ移住しました。元々バックパッカーとして20カ国以上旅してきた経験から、異文化を感じられる沖縄に魅力を感じていたことが理由の1つですが、移住を後押ししたのは「自分が離れることで組織の成長を促したい」という思いです。

今年設立8年目を迎える法人は、年々成長を続けてきました。ずっと自分の手の届く範囲で活動を進めてきましたが、ここ数年「私がいることでスタッフの成長の幅を狭めていないか」と思うことが増えてきました。もちろん私が責任を負える状況にあることは安心ですが、その状態が続くままでは、組織も働く人も変化や成長をしづらいのではないかと感じたのです。

そのため、2019年度は組織作り注力して行きました。事業部制を取り入れ、今までは代表である私が主に行ってきた予算や事業計画をそれぞれの事業部マネージャーが管理していくようにしました。また今まで事務局が担ってきた経理業務や採用業務を各拠点に移すことで、採用から育成、財務管理を各教室が意識して取り組み少しずつ変化して行きました。

人材育成に関しては評価制度づくりを行い、上司と定期的な振り返りを行うことで各人の成長を図っています。さらに拠点を越えて「ランチ会」を開催することで、対話が生まれやすい組織づくりも促進してきました。

多様な働き方を選択できる環境をどうやって作り続けるかー

代表である自分自身が、沖縄という離れた場所から引き続き模索していきたいと思っています。

ダイバーシティ工房の成長はまだまだ続きます！

## 「私として生きたい」を実現できる、多様なあり方を選択できる社会へ。

「そらいろおうちえん」の利用者である瀧田菜緒さん。  
娘の実生ちゃんは難病を持って生まれ、日常的に医療的ケアが必要です。  
それでも働くことを諦めなかった菜緒さん自身の、そして家族のあり方について、お話を聞かせていただきました。



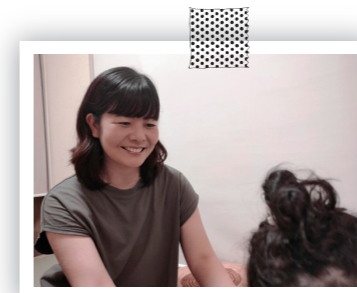
瀧田菜緒さん

### 生後1日で大手術を経験

今年3歳になる娘は、先天性横隔膜ヘルニアという難病を持って生まれました。妊娠時から「(生まれても)数時間しか生きられないかもしれない」と告げられており、健診の度に泣いていました。なんとか無事に生まれてくれた娘は、生後1日で大手術。生死をさまよいました。さらに数か月後には遺伝子疾患があることも判明。気持ちはどん底の状態を経験しました。入院中の娘の成長は、二歩進んで三歩下がるような状態でしたが、毎日病院に通いながら、だんだん気持ちも慣れていったように思います。ようやく家族3人で自宅での新しい生活を始められたのは8ヶ月になった頃でした。

### 私は「私の人生」を後悔ないように生きたい

その後も入退院を繰り返しつつ、暮らしに慣れてくると「この子、全然成長しない」と気づくんです。毎日一緒、何も変わらない日々。ふさぎ込む日も増え、少しずつ「私には家にずっといる生活は向いていないかも。」と感じ始めていました。私は娘に病気があっても、仕事へは何年かかっても復帰すると考えていました。辛かった妊娠時も、仕事があったからこそ気持ちを切り替えることができていました。しかし、家族以外の周りの人に正社員で復帰したいことを伝えると、「本気で？」と驚かれ、「娘さんみたいな子がいて仕事をするのは無理だと思う。」とまで言われました。それほどまでに「医療的ケア児をかかえながら正社員で働く」ということは珍しく、前例のないことでした。でも私からしたら「なんで無理なの?」「なんで諦めなきゃいけないの?」という気持ちでした。産んだのは私だけれど、「私は私の人生を後悔ないように生きたい」と思いました。



保育園が終わった実生ちゃん(当時2歳)を迎える菜緒さん。自然と笑みがこぼれます。

### 保育園との出会いー娘の喜怒哀楽も豊かに

色々な所に問い合わせ、市の発達支援課にも足繁く通っていたところ、担当の人が「にじいろおうちえん」を紹介してくれました。電話すると、「週1回くらいしか受け入れられないかもしれないけど、よかつたら話聞きますよ。」と言ってくれたのです。そんな園は初めてでした。それまでに連絡した保育園は、電話してこちらの事情を話すと会ってもくれなかったり、「人が足りない」と積極的ではなかったりする保育園がほとんどだったのです。実際に当時園長だった不破さんと話すと、私の状況や職場復帰の思いを聞いて、その日のうちに受け入れることを決めてくれました。保育園が見つかるまで心が折れそうなきもたくさんありましたが、「仕事に復帰する」という強い目標と、家族や職場の支えがあったからこそ実現することができたのだと思います。娘も家の中にずっといるよりも外が好き。保育園に通う回数も増え、楽しそうにしています。娘にとっても刺激があって、喜怒哀楽も豊かになり成長しています。保育士さんたちは娘を温かく見守ってくれて、私自身嬉しく感じ、感謝しています。

※実生ちゃんは、2019年3月に「にじいろおうちえん」に入園し、現在は「そらいろおうちえん」に在籍しています。

### 家族みんなが笑顔で楽しく

保育園に入るまでは「実生ちゃんのお母さん」だけで一生が終わるのかと思ったこともありましたが、そうではなく「私として生きたい」を実現するためにはどうすればいいのか、諦めなくてよかったと感じています。娘に接する時間が短いからこそ、愛情をたっぷり注げる。娘はたくさん手術や痛い思いを乗り越えてきました。だからこそ、暗い顔して塞ぎ込んで生活するより、家族みんなが笑顔で楽しく過ごした方が娘にとってもプラスになると思っています。

### 「諦めなくていい人」が増えたらいいな

娘には、「歩いてほしい」とか、「会話できたらいいな」と思うこともあっても、できるかどうかはわかりません。それなら「充実しているな」と、今きちんと感じられる方がいい。これから先、医療の発達や医師の経験によって、娘のような状態から回復して、医療的ケアがなくても生き続けていく子は増えていくと思っています。そういう子どもと保護者への受容が、社会に少しずつ広がって欲しい。そのためには私自身、引き続き色々なところに働きかけをしていきたいと思っています。どんな状況でも、家族のかたちが変わっても、自分の人生ややりたいことを「諦めなくていい人」が増えたらいいなと思っています。

# 私らしくいられる 「おかえり」の声が聞こえる家

2020年3月にクラウドファンディングを実施し、4月から入居者を受け入れ始めた自立援助ホーム「Le Port (ル・ポール)」。  
さっそく生活を始めた10代の2人の子どもたちにホームでの生活やこれからのことについて聞きました。



聞き手

八神 愛衣 (ホーム長)

中学3年時にダイバーシティ工房が運営する塾に通い、高校に進学するが中退。ダイバーシティ工房で勤務しながら通信制高校を卒業。発達障害を持つお子さんの支援に6年間関わる。現 Le Port ホーム長。

入居者

Aちゃん Kちゃん



2人とも Le Port に来て2,3か月たちました。Le Port に来て感じたこと、できるようになったことはありますか？

**Aちゃん:** ル・ポールに来て驚いたのは、夜景がきれいだったこと。夕日もきれい。大変だったのは、八神さんのお世話です(笑)。来た初日に、八神さんに「ごはん作って！」って言われてびっくりしたんですが一緒に作りました。

**八神:** 私、ご飯作るの苦手なんだよね(笑)。練習にもなるかなと思って、一緒に誘って見たら、すごく器用なの！Aちゃんはチラシを作るお手伝いもしてくれて、とても助かっています。



子どもたちも料理づくりに挑戦

**Kちゃん:** ここは、おしゃれ。あと、たくさん人がいるから話せて楽しいです。くだらないこととかしゃべってる時が楽しい。ル・ポールに来てから、たまにお皿洗いをやっています。あと、炊飯器を使えるようになりました！あと、目玉焼きや卵焼きは作れるようになって、朝ごはん作ったりしました！

**八神:** Kちゃんはね、料理してくれるの。最初は「いやいや」って言うけど、慣れてくるとすぐ「いいですよ」って言ってやってくれるんです。私は味付けだけ確認したりして。Kちゃんは「いやいや」とすぐに言う口癖があるんだけど、本人も「変えたい！」って言うので、その気持ちを別の言葉に言い換えようって話しているんです。

**Kちゃん:** 愛想がよくて、話が面白くて、ネガティブなことを言わない。そんな人になりたいんですけど、それは中々まだできていないです。

将来やりたいことを教えてください。

**Kちゃん:** まずは、きちんと高校を卒業したいです。あと、学校の授業で生涯年収の話がされて、大学も考え始めてます。どういう勉強ができるかまだわからないけど、都市伝説とか好きなのでそういう勉強がしてみたいです。

**Aちゃん:** 昔は保育士さんが夢でした。今は完全に諦めたというわけではないけど、心の隅に置いてある感じです。他に、もっとやりたいことが見つかったら、そっちを頑張りたいかな。

Le Port をこれからどんな場所にしていきたいですか？

**Kちゃん:** Nintendo Switch がリビングにあればなあ。みんなでゲームしたら楽しそうじゃないですか？

**Aちゃん:** んー、これが理想じゃない？落ち着いてる人もいれば、場を盛り上げてくれる人もいるし、注意してくれる人もいるから、大体そろってるじゃないですか。あと、家に帰ってきたときの「おかえり」の声がすごく温かく感じるんですよ。自分の家に帰って「おかえり」とか、本当になかったから。常に温かいんです。自分が大人になってもし八神さんがまだここで働いていたら、「ただいま」って帰ってきても絶対八神さんは「おかえり」って言うじゃないですか。実家感覚なんです。常におばあちゃんちにいるって感じ。そんな感じです、この家。

**八神:** わあ、それは嬉しいね。この間2人の入居祝いでバーベキューをしたときに、AちゃんとKちゃんから「八神さんも(ホーム長のお祝い)だよ」と言われて、嬉しくてウルウルしちゃった。このホームを立ち上げてお祝いの言葉を言われるのは初めてで、頑張ってきてよかったなと思いました。楽しく家族で外食するとか、水族館に行くとか、1年に1回は旅行するとか、とっても贅沢なこと望まないけど、実家で経験できたら良かっただろうなあという経験を、ここでの楽しい思い出として残してあげたいと思っています。



みんなが集まるリビングルーム



## Le Port (ル・ポール)

フランス語で「港」という意味です。次のステップに向かおうとする人の起点となる場所になることを願って名付けました。

## 自立援助ホームとは？

自立援助ホームが対象とするのは、義務教育を終えた原則15歳から20歳までの子どもたちです。18歳で児童養護施設を出たあと、行く先がなくなってしまったり、虐待などの理由により家族と暮らせなくなったり、自立援助ホームに入る理由は様々です。学校や仕事に通いながら、社会で生活していくための力をつけられるように支援を行います。

## Le Port の役割

自立援助ホームに入所する子どもたちの学歴は「中卒」が一番多いと言われてしています。

ホームに入居する子どもたちは就労し経済的自立を目指しますが、学歴がハードルとなり、就労が困難な場合も多くあります。

ダイバーシティ工房では、学習支援を専門としてきた法人の強みを活かし、高校入学・卒業や、高卒認定資格取得のサポートなど入居者への学習支援にも注力しています。また入居する子どもたちの自立支援のため、コミュニティスペース地域の学び舎「プラット」にてボランティア活動の機会を設けるなど、法人全体で子どもたちを支えています。

NEWS!

# 無料のLINE相談「むすびめ」2020年8月スタート

※みてね基金助成事業



生活をする上でちょっと誰かに話したいこと、知りたいこと、どこに相談していいかわからないことについて、情報をお伝えしたり、一緒に考えたりするLINE相談窓口です。内容や年齢にかかわらず、だれでも無料で使うことができます。

「誰かの手を借りたいな」と思った時に相談してみると方法や問い合わせ先がわかり、気持ちが楽になるかもしれません。生活の困りごと、悩みごとをちょっと話してみませんか？

友人・家族 子育て 仕事・お金 勉強・進路 その他

相談員は20代～60代までの幅広い男女スタッフがいます。ご相談内容に合わせて、保育士・看護師・相談支援専門員など専門性を持ったスタッフが担当をさせていただきます。気兼ねなくご連絡ください！



子どもと家族の総合相談まどぐち

## むすびめ



【受付時間】平日 9:00～20:00  
(20:00以降のご連絡は翌日以降対応)

<https://www.musubime-diversitykobo.org/>

LINE 友だち追加

LINEの「友だち追加」から右の【QRコード】または【ID検索】から追加をお願いいたします。



ID検索 @055pwkyd

ATTENTION!

## ダイバーシティ工房では マンスリーサポーターを募集しています。

マンスリーサポーターとして、私たちと一緒に地域子どもたちを支えていただける方を募集しています！  
無料学習教室の運営や、  
自立援助ホームに入居する子どもたちの生活援助金として使わせていただきます。

こちらからお申込みいただけます。



<https://bit.ly/2BXC5hF>



### 特定非営利活動法人ダイバーシティ工房

設立 1976年(NPO法人化2012年) 代表理事 不破牧子  
職員数 106名(2020年9月1日現在/常勤・非常勤・契約・インターン含む)  
Webサイト <https://www.diversitykobo.org>  
Facebook <https://www.facebook.com/diversity.cobo>  
所在地 〒272-0034 千葉県市川市市川 1-9-1 AKIOビル4階  
☎047-711-1136/info@diversitykobo.org

#### 運営施設一覧

自在塾	千葉県市川市平田 2-8-1	☎047-718-2330
スタジオ plus+	市川駅前教室 千葉県市川市市川 1-11-8 ルミノソツ市川 4階	☎047-316-0569
	市川中央教室 千葉県市川市市川 1-9-1 AKIOビル 4階	☎047-711-1139
	本八幡教室 千葉県市川市八幡 3-8-19 第9モリビル 3階	☎047-316-1366
	瑞江教室 東京都江戸川区東瑞江 3-41-6 UHRビル 201号	☎03-6638-8136
	船橋教室 千葉県船橋市宮本 1-21-8 ウィン船橋 103・104号	☎047-411-7798
地域の学び舎「プラット」	千葉県市川市平田 2-8-1	☎047-718-2330
にじいろおうちえん	千葉県市川市市川 1-12-23 メゾンドロワール 202号室	☎047-712-5022
そらいろおうちえん	千葉県市川市市川 1-12-23 メゾンドロワール 101号室	☎047-712-5022
自立援助ホーム「Le Port」	千葉県市川市以降非公開	